

令和6年度 第10回 県政モニター調査結果

農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
(099-286-3179)

○テーマ 「食生活と食育」について

○調査目的 県民の皆様の「食」に対する意識や食生活の実態を把握し、今後の食育等の推進に関する施策の参考とするものです。

※ 県では、県民の皆様の地産地消を基本とした健康で豊かな食生活の実現を図るため、令和3年3月に策定した「かごしまの“食”交流推進計画(第4次)」に基づき各般の取組を進めています。

○調査期間 令和6年1月

○調査対象 200人

○回答者数 130人(65%)

[注] 割合(%)は、選択者数÷回答者数(130人)×100で計算しています。

また、小数点第1位で四捨五入しており、その和は100%にならない場合があります。

問1 あなたは、食育に関心がありますか。

(全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 関心がある	73	56%
2 どちらかといえば関心がある	42	32%
3 どちらかといえば関心がない	10	8%
4 関心がない	4	3%
5 分からない	1	1%

問2 あなたの食生活において、主食、主菜、副菜を基本にバランスのよい食事がとれていますか。

(全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 実践できている	15	12%
2 おおむね実践できている	81	62%
3 あまり実践できていない	31	24%
4 全く実践できていない	3	2%

問3 あなたは、食事や買い物等の際、意識して県内で生産された農林水産物や食品を購入していますか。

(全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 いつも意識して県内産を購入するようにしている	54	42%
2 ときどき県内産を購入している	45	35%
3 県内産・県外産を意識して購入していない	26	20%
4 自分で購入する機会がない(家族等が購入している)	5	3%

問4 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や、箸(はし)づかい・作法等について、何か教わったものがありますか。それは誰から教わりましたか。

① 教わった伝統的な料理がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 がね	64	49%	
2 とんこつ	63	48%	
3 豚汁	86	66%	
4 つけあげ	49	38%	
5 あくまき	53	41%	
6 その他	18	14%	(かからん団子, 鶏飯, ふくれ菓子, ねったぼ, 豚味噌等)
7 教わっていない	19	15%	

② 教わった作法等がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 箸づかい	104	80%	
2 食事のマナー	93	72%	
3 食事のあいさつ	96	74%	
4 その他	6	5%	(正座, 姿勢, 残食しない 等)
5 教わっていない	11	8%	

③ 教わったものがある方に伺います。誰から教わりましたか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 父母	114	88%	
2 祖父母	54	42%	
3 姉妹・兄弟	14	11%	
4 学校等の先生	29	22%	
5 その他	12	9%	(職場, 地域の集会, 料理教室 等)

問5 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や、箸(はし)づかい・作法等について、地域や次世代の若者(子どもやお孫さんを含む)に対して、何か伝えているものがありますか。

① 伝えた伝統的な料理がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 がね	46	35%	
2 とんこつ	43	33%	
3 豚汁	62	48%	
4 つけあげ	33	25%	
5 あくまき	32	25%	
6 その他	10	8%	(鶏飯, ふくれ菓子, ねったぼ 等)
7 伝えていない	12	9%	

② 伝えた作法等がありますか。

(全員:複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 箸づかい	84	65%	
2 食事のマナー	86	66%	
3 食事のあいさつ	79	61%	
4 その他	3	2%	(郷土菓子などの作り方, 食べ方 等)
5 伝えていない	22	17%	

③ 伝えたものがある方に伺います。誰に伝えましたか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)	
1 自分の子ども	94	72%	
2 自分の孫	41	32%	
3 姉妹・兄弟	12	9%	
4 地域の子ども	23	18%	
5 その他	15	12%	(甥姪, 地域の方等)

問6 食品の表示について伺います。

① 食品(農産物を含む)に「栄養機能」や「機能性」の表示ができる制度があることを知っていますか。

「栄養機能表示」 (全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 よく知っている	45	35%
2 聞いたことがある	61	47%
3 知らない	24	18%

「機能性表示」 (全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 よく知っている	54	42%
2 聞いたことがある	62	48%
3 知らない	12	9%

② 農産物のパッケージに「栄養機能」や「機能性」の表示があれば購入したいですか。

(全員:単数回答)	人数(人)	割合(%)
1 積極的に購入したい	32	25%
2 試してみたい	42	32%
3 価格が同等なら購入したい	41	32%
4 購入したくない	1	1%
5 わからない	12	9%
6 その他	1	1%

③ 上記②で1,2,3を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。

(複数回答)	人数(人)	割合(%)
1 身体に良さそう	82	63%
2 サプリメント等より取り入れやすい	21	16%
3 科学的な根拠がある	49	38%
4 健康でいたい	77	59%
5 表示があると良い農産物のように感じる	58	45%
6 その他	1	1%

栄養素がどのように効果がある分かりやすいから、医療費のかからない生活を送りたいから 等

④ 上記②で4を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。

- ・ 常に健康(運動・食事)について意識する事を心掛けているから 等

問7 食育について、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

<食生活において取り組んでいること>

- ・ 添加物や保存料の過剰摂取は少なからず、現代病の一つになっていると考えられます。完全に排除することは難しくても、できる限り排除していくように心がけています。
- ・ 鹿児島の物は身体に良い食材が揃っているので、出来るだけ地産地消で鹿児島の物を購入するようにしています。また、鹿児島県の農林水産物消費を貢献し守るためにも、農業・食育に関する知識をさらに深めていきたいと思います。
- ・ なるべく地元でそのときに手に入る野菜やくだもの魚、肉を食べるように心がけています。

<食の伝承>

- ・ 祖母直伝のジャガイモ料理を使ったり、やはり食事はあると幸せにする力があると思います。
- ・ 子供の頃に食べた、祖母や母が食べさせてくれた郷土の料理を自分でも作れるようになりたいと思っています。今回同封された「かごしまの味」の冊子も大変興味深く拝読いたしました。

<子どもたちの食育, 学校給食等>

- ・ 毎年地元小中学校を訪れて米, 野菜, 果物等食料の生産管理の実態や大切さの話をし, また体験から食の現場を見て体験する事の重要さを今後もあったら取り組みたい。
- ・ 子ども食堂をしているので, 食を通じて教えてあげられる事がたくさんあると思うので親が忙しい分大人になって困らない用に家庭を持って子どもに伝えていけるようにボランティアのシルバー力を発揮しています。

<施策等への提案>

- ・ 高齢者が家庭教育や学校での食育に関する事ができるように考えて欲しい。
- ・ 鹿児島には伝統的な昔ながらのおいしい食べ物がいっぱいあります。昔は食べられていた物が今は残念ながら遠い昔の食になっています。鹿児島の食をもっと食してもらい、鹿児島のPRに繋げてほしい。
- ・ 食生活改善推進員の活動が一部イベントなどの手伝いだけになっている場面を見かけます。また情報の更新が遅いと感じる場面もあり、思い込みなどによる間違った情報が伝えられることがないようにしてほしい。
- ・ 食育を推進する人材の育成と場を作ってほしい。